

まちおこし

「蔵の街真壁花・行灯プロジェクト」

あんどん

7月3日、茨城県主催の茨城県商店街活性化コンペ事業の公開プレゼンテーションに参加した大和町商店会(真壁町真壁地区)が、「蔵の街真壁花・行灯プロジェクト」で優秀プランを受賞しました。

このプロジェクトは、行灯を利用して、楽しく趣のある心から癒されるまちづくりをすることが目的です。

今回製作され、店先などに置かれる行灯は、高さ130cm・幅36cmで、縦長の箱型をしています。側面には、真壁氏の旗指物に描かれていた黒いイノシシの絵が入っています。また、ほかの面には、祭り名や店名、幼稚園児・小学生児童などの絵や書道の作品を入れる予定です。

店先などに置かれる高さ130cm・幅36cmの行灯



蔵の街・行灯まつり

夕暮れの町並みに灯る幻想的な行灯をお楽しみください。キッズダンス、よさこい、太極拳の演舞、模擬店など楽しい催しがたくさんあります。

■日時／10月20日(日)

16時～20時30分

雨天延期10月27日(日)

■会場／真壁伝承館駐車場西側、真壁町真壁の大和町・高上町

■問合せ先／大和町商店会 村上(むらかみ) (☎0296-5513160)

真壁伝承館の来館者30万人突破

平成23年9月1日にオープンした多目的複合施設「真壁伝承館」の来館者が7月30日で30万人に到達し、節目の利用者に記念品を授与する記念セレモニーが開催されました。

来館30万人目となったのは、真壁町亀熊地区の柴山理(しばやま)さんと孫の真壁小2年の柴山幸輝(しばやまこうき)さん。中田市長の出迎えを受け、くす玉を割った後、記念品が贈られました。

柴山さんは、偶然30万人目となると驚いた様子でしたが、「周辺に残っている歴史的建造物を多くの人に見てもらいたい」と話していました。

真壁伝承館は、旧真壁中央



地域交流の拠点として親しまれている多目的複合施設「真壁伝承館」

公民館の老朽化に伴い、国の重要伝統的建造物群保存地区のシンボルとして建設され、白と黒を基調とした外観により、歴史的建造物が立ち並ぶ周辺の景観に配慮された造りとなっています。

施設の主な機能は、会議室や調理室、音楽スタジオ、集会ホールを備えているほか、歴史資料館や図書館(所蔵20,000冊)を併設しており、多方面の目的で利用することが可能です。

■問合せ先／生涯学習課(真壁伝承館内) ☎0296-2318521



来館30万人目となった柴山理(しばやま)さん(左)、家族の幸輝(こうき)さん(中央)と中田市長(右)

資格取得!

少子・高齢化が進展する現在、資格者として医療の分野で輝けるフィールドが大きく広がっています。当学院では、幅広い年齢層の生徒が共に学び、地域医療の最前線で活躍しています。社会人の方々も、数多くチャレンジしています。

地域医療に貢献する 准看護師

募集要項 領布中
入学相談・学院見学
随時受付中



真壁医師会准看護学院
☎0296-22-7702

筑西市二木成827-1(下館南中学校そば)
<http://www.m-ishikai.com/gakuin/>